

月刊 天真

発行日 2024(令和6)年1月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 住職 西原恵照
 第562号



謹賀新年

あけまして
おめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いいたします
2024年1月1日



元旦会のご案内

輝かしい一年の始まりです。阿弥陀さまに新年のご挨拶をしませんか。
 元日には、仏さまのお慈悲の中に生かされるよろこびを新たに、ぜひ一緒にお参りしましょう。

[日時] 1月1日(元日) 午後2時
 [場所] 天真寺本堂
 [次第] おつとめ(正信念仏偈)、御文章拝読、流杯の儀でお祝い



今月の予定

2024年 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1 元日 14:00元旦会	2	3	4	5	6 10:00納骨堂合同参拝
7 7:00日曜礼拝 ●	8 成人の日	9 御正忌報恩講~16日 (京都・西本願寺)	10	11	12	13 13:30グランドゴルフ
14 7:00日曜礼拝 ●	15	16	17	18	19	20 13:30新春法話会 ●
21 7:00日曜礼拝 ●	22	23	24	25	26	27 13:30グランドゴルフ
28 7:00日曜礼拝 ●	29	30	31 11:00門信徒会観劇会 (浅草公会堂)	[来月の予定] 20日 13:30「法話会」		

●印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから<http://www.koumyou.net/tenshin>

天ちゃんの一言



● 今年も引き続き社会活動を行ってまいります
 主な支援先:NGO法人アークス仏教国際協力ネットワーク、仏教情報センター(電話相談)、浄土真宗東京ビハラー(仏教ホスピス)、松戸市社会福祉協議会、NPO法人駄菓子屋カフェくるくる(子育て支援)等々で活動しています。

● ご注意ください! 今月はグランドゴルフの日が変更です
 法話会と重なるため、活動日は1月第2・4週目の土曜、時間は同じ13:30です。

● 仏事のご相談、お墓のお悩みはどうぞお気軽にご相談ください

- 永代合葬墓 やすらぎ堂 (松戸・大町やすらぎパーク内) 管理費なし
- 永代合葬墓 あんのん堂 (京都・親鸞聖人の廟所 大谷本廟内) 管理費なし
- 一時預かり 納骨堂 (天真寺2F) 年間管理費 1万2千円

● 「天真寺門信徒会」 入会して一緒に仏法を聞きませんか
 毎月寺報と仏教冊子を送付しています。法話会やお盆・お彼岸など法要に自由にご参加いただけます。年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186

● 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています

住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn
 副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/

入会随時募集
門信徒会
に入りませんか



お寺の掲示板の言葉

心貧しき人は
不平不満で
一日を過ごし
心豊かな人は
お陰様で
一日を過ごす



浄土真宗
本願寺派

天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ヶ作106
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp





新春 法話会



今年は
いっぱい
お聴聞
しましょう！

【日時】 1月20日(土) 13:30

午後1時半開始 おつとめ(正信念仏偈・和讃)
法話 60分1席
終了後、正月供餅のお汁粉の接待があります



【講師】 「声のみほとけさま」 弘山 光称師

新春ならではの！雅楽演奏もありますので、素敵な音色をお楽しみに～♪
(広島県呉市 西教寺衆徒・本願寺派布教使・雅楽演奏家)

【場所】 天真寺本堂

オンライン参加
はこちらの
QRコードから



★オンラインでも参加可能です

<http://www.koumyou.net/tenshin>
天真寺のHP(tenshin.or.jp)からも簡単に見られます！

2024(令和6)年 年 回 表

～ つながりの中で 生きている ～

一周忌	2023(令和5)年
三回忌	2022(令和4)年
七回忌	2018(平成30)年
十三回忌	2012(平成24)年
十七回忌	2008(平成20)年
二十五回忌	2000(平成12)年
三十三回忌	1992(平成4)年
五十回忌	1975(昭和50)年
百回忌	1925(大正14)年

年忌法要(法事)は、定められた年に、故人さまのご命日をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの恩徳に報謝する思いでおつとめする法要です。

来年法要にあたる方は、左表の通りとなります。ご確認の上、ご法事はお寺までご相談ください。

★日程は…故人さまのご命日、またはご命日の前後で、ご家族が都合のいい日をお選びください。ご命日の後になっても大丈夫です。

★場所は…お寺かご自宅で営みます。法要に納骨が伴う場合は墓所でもおつとめいたします。

★用意するものは…お念珠。過去帳。供物(花・菓子・果物)はお気持ちでお願いしています。お寺の場合は、花は本堂で、菓子等は他の行事や法事で使わせていただいております(ありがとうございます)。写真、位牌(本来浄土真宗では用いませんが)の持参は各家にお任せし、お持ちの時はお飾りしております。ご不明なことは、どうぞお寺までお尋ねください。



光壽無量 慶賀新年

天真寺住職 西原恵照



皆さまにおかれましては、お慈悲の中で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

光壽無量 我は宇宙のいのちなり

私たちは、地球という大きな生命体に乗り合わせた一人一人です。

私は昨年、念願叶って平泉中尊寺金色堂へお参りました。金色堂は「世界遺産平泉」のシンボルであり、国宝第一号に指定されたお堂で、阿弥陀さまの極楽浄土を再現しており、本尊の阿弥陀如来はもちろん、柱も天井も床もすべてが金箔で荘厳され、夜光貝の螺鈿細工、象牙や宝石によって飾られる東北地方で現存する最古の浄土教建築です。

お参りしていて何故金色かと仏前で考えてみました。『仏説無量寿経』には阿弥陀さまの極楽浄土の世界は「真金色」であり、すべてが金色である。また、『仏説阿弥陀経』には「青色青光 黄色黄光 赤色赤色 白色白光 微妙香潔」とあり、お浄土には色とりどりの蓮華が咲き、清らかな香りを放っている。すべては同じ色ではなく、それぞれが自分の個性のままに耀き、一切が調和されていると示されます。色が金色というのは、まさにすべてがすべて光耀している世界、それがお浄土なんだと思いました。

私たちの娑婆世界は差別があつたり、虐げられたり、劣等感を抱いたり、争いで苦しみ悲しみは絶えず輝きを放つことが出来ない苦悩の世界です。報道で小さな男の子が「お父さんもお兄ちゃんもみんな戦争で死んじゃったよ」と泣き叫ぶ姿には本当に心が痛みます。

この根元は私という存在があり、誰かと比べて、私が正しくて、相手が間違っている。自分が正義で、相手が悪であり、目まぐるしい我執の争いを繰り広げ、差別や偏見を生み出しています。私という字を辞書で調べると、「自分のこと。公平さを欠いて、自分の都合や利益を優先すること」等々と示されています。

誰も自分を守り、自身の都合を正義とし、悪を造り出す。人は誰かと比べて、こっちが正しくて、あっちが間違っていると判断しがちです。「正義」と「悪」、そのほとんどが自分が正義で、相手が悪との思い込みです。

「正義」や「悪」は誰が決めたのか？私たちは自分中心のものさしで物事を見ている。自分の都合の良いように、自分が得するように…。「私」という存在がある限り、自分中心の考え方からは離れられません。

私が私の「正義」を持ち合わせる限り、私が「悪」を生み、争いが起こる。だからこそ「私」ではなく、「仏さま」の智慧をモノサシにして物事を見る眼を育てたいものです。詩人の相田みつをさんは「損か得か人間の物差し 嘘かまことか仏様の物差し」と言われます。

浄土真宗の「信心」「念仏」とは、阿弥陀さまの智慧のはたらきをいいます。仏さまの智慧により、偽りだらけの私の姿が浮かび上がってくるのです。

親鸞聖人は仏さまの智慧に出会い、「よろずのこと みなもって そらごと たわごと まことあることなきに ただ念仏のみぞまことにておわします」、または自身を「名利の大山に迷惑す」と示され、その愚かな親鸞こそ阿弥陀如来の救いの目当てであり、今、その救いのみ手に抱かれている事実に出遇われました。和讃には、「如来の作願をたづぬれば 苦悩の有情をすてずして 回向を首としたまひて 大悲心をば成就せり」とあります。阿弥陀さまの願は、苦悩するものの苦しみを自身のものととらえ、その苦悩する私を救うことにありました。

今年も皆さまとご一緒に仏の智慧を聞思しながら、耀く浄土への日々を過ごさせていただきと念願しております。 合掌 南無阿弥陀仏